

総領事館便り 9 月号

★「第22回漢字カップ」の開催

10月4日（土）に、スラバヤ国立大学（UNESA）において、当総領事館、国際交流基金、IMC センター（スラバヤ市内にある日本語学校）の共催により、「第22回漢字カップ」を開催します。今回で22回目を迎える「漢字カップ」は、インドネシア人高校生・大学生を対象に漢字の知識を競う大会です。昨年の第21回大会では、東ジャワ州のみならず、マカッサル市、プルウォコルト（中部ジャワ州）、ジョグジャカルタからの参加者を含む約200名の高校生・大学生が参加した他、エキシビション・マッチでは SJS の児童・生徒の皆さんにも参加いただきました。

インドネシア人学生の日本語学習や日本文化に対する情熱を感じられる大会となっておりますので、是非当日会場に直接お越しください。

日時：10月4日（土）09：00～13：00

会場：スラバヤ国立大学（UNESA）Lidah Wetan キャンパスLPSP棟9階講堂
（Jl. Lidah Wetan, Lakarsantri, Surabaya）

留意事項：時間や会場は直前に変更となる可能性があります。最新の情報は当総領事館の公式インスタグラム@konjen_jepang_surabayaにて御確認いただきますよう、お願いいたします。

インドネシア入国時における手続きの変更（「All Indonesia」の導入）

- 1 インドネシア政府は、インドネシア入国時における事前の手続きとして、新たに「All Indonesia」を導入することを発表しました。これは、今まで運用していた電子税関申告書（e-CD）及び健康検疫申告書（SATUSEHAT Health Pass）などのシステムを統合し、更に滞在先住所などを登録する到着カード（Arrival Card）の役割を追加したシステムとなっています。
- 2 既に一部の空港において試験運用を行っていましたが、9月1日以降、ジャカルタのスカルノ・ハッタ空港、スラバヤのジュアンダ空港及びデンパサールのングラ・ライ空港に到着する全ての国際線搭乗者は「All Indonesia」から到着カード（Arrival Card）の電子フォームへの登録が義務づけられます。また、10月1日以降は全ての国際空港・海港で施行される予定です。
- 3 「All Indonesia」の登録サイトは以下のとおりで、インドネシアに到着する3日前から入力可能です。入力後に到着カード（Arrival Card）QRコードが表示されますので、スクリーンショットを撮っておくか印刷しておき、空港係官に見せてください。
<https://allindonesia.imigrasi.go.id/>
- 4 現時点で「All Indonesia」にIMEI登録（インドネシア国外で購入した携帯端末を持ち込み、90日以上の間、SIMカードを入れて利用する場合の登録）の機能はありません。IMEI登録を行う場合は、税関申告書（e-CD : <https://ecd.beacukai.go.id/>）も同時に入力しておき、空港を出る前にIMEI専用窓口を訪問して手続きする必要があるとのことです。
- 5 インドネシア入国査証（E-VISAやE-VOA）の取得は「All Indonesia」とは別にこれまでどおり、インドネシア入国管理局のサイト（<https://evisa.imigrasi.go.id/>）から手続きを行います。なお、E-VOAの場合は「All Indonesia」を通じて登録申請することも可能です。
- 6 「All Indonesia」の登録に料金の支払はなく、クレジットカード情報の入力もありません（E-VOAの申請をした場合は支払いが発生します）。今後、偽サイトや高額代行サイトが出現する可能性もありますのでご注意ください。

（了）